

令和6年度(2024) レベル別教育プログラム

【レベルⅡ対象】

研修名	推奨するeラーニング	赤十字施設の看護師の看護実践能力の指標	研修受講後の到達目標	講師(担当部署)	日時
記録Ⅱ (NEW) 「患者・家族の思いが見える記録を記載しよう」	AA2461 「患者が見える、ケアが伝わる看護記録」		1. 記載基準に基づいて記録することができる 2. 看護実践の証明となる記録を記載できる 3. 患者・家族の思いが見える記録とは	記録委員会	6月3日(月) 13:30~14:30
スタッフ教育Ⅱ 「リフレクションで共に成長しよう」  (6A)(7B)	看護共育コース ALB2456 「はじめてのリフレクション」 ALA2451 「みんなが笑顔になれるアサーションの基本」 ALA2452 「困ったときにも役立つアサーション」 他ALB2452 ALB2453 ALB2454	(75)(92) (93)(94)	1. リフレクションについて理解する 2. 他者に受容的・共感的態度で接することができる 3. 関わった後の後輩の成長に関心を寄せリフレクションができる 4. リフレクションを重ねながら共に成長することができる	教育委員会	6月20日(木) 13:30~14:30
看護倫理Ⅱ 「倫理的感受性～倫理的ジレンマに気づく自分になろう～」  (5A)(5B)	認知症・高齢者コース BD2404b 「認知症患者の看護ケアで直面する倫理的課題」  倫理関連 CD2403b 「看護職が倫理を学ぶ理由」	(60)(61) (67)(68) (71)	1. 看護倫理の概要を学び、倫理問題を客観的に理解できる 2. 部署での倫理的問題に気づき行動できる 3. 自部署の倫理検討会で事例の倫理的問題について看護者の倫理綱領や赤十字の基本原則に照らし合わせて考えることができる	看護部倫理委員会	6月27日(木) 13:30~14:30
グローバルヘルスⅡ 「看護の対象が暮らす地域や社会に目を向けよう」  (産科)	看護のプロフェッショナルコース GT2454 「人を支え、地域を支える看護職に求められる力とは」  GT2453 「看護の対象はすべての人」 GT2452 「豊富な国際活動経験から語られる看護師のあるべき姿とは」	(96)(97) (98)	1. 国内外の保健・医療・福祉の動向から、最新の健康問題が分かる 2. 地域アセスメント(①地域特性②社会資源③地域ニーズ)能力を高め、看護の対象を個人から集団に広げ考えることができる。 3. 国内における最新の健康問題が分かる	赤十字科目Ⅱ修了 看護師長	7月19日(木) 13:30~14:30
メンバーシップ 「メンバーシップを高めよう！」  (6A)(7B)	看護共育コース ALA 2453 「メンバーシップ・フォローアップ」 院内全体研修コース CK2404b 「組織力を高めるコミュニケーションとは」 CK2454 「医療職が育む社会人基礎力の必要性」	(76)(78) (81)(82)	1. 日常の看護実践においてチームで協働することができる 2. チームで協働するために必要なコミュニケーションの方法を理解し実践できる 3. チームで協働する上で必要な情報や意見を適切に伝えることができる 4. 受け持ち看護師の役割を理解し行動できる	業務委員会	7月23日(火) 13:30~14:30  (アクションシートB)
フィジカルアセスメントⅡ 「身体症状・兆候から看護を展開しよう～基礎編～」  (ICU)(3HCU)	中堅コース AB2401a 「フィジカルアセスメントのゴールをどう定めるか」  AB2451 「チームで取り組む急変対応」	(59)(60) (62)(65) (69)	1. 身体症状・兆候のOデータと患者のSデータを適切に収集し、患者に何が起きているのかを把握して、多角的なアセスメント、変化の予測ができる 2. アセスメントしたことを医療チームの一人として看護実践できる。 3. 急変時、医師の到着までに与えられた役割について理解できる	急性・重症患者 看護専門看護師 迅速対応チーム	8月8日(木) 13:30~14:30

令和6年度(2024) レベル別教育プログラム

【レベルⅢ対象】

研修名	推奨するeラーニング	赤十字施設の 看護師の看護 実践能力の指 標	研修受講後の到達目標	講師 (担当部署)	日時
フィジカルアセスメントⅢ-A 「摂食・嚥下編～摂食・嚥下機能を適切にアセスメントをし、誤嚥を予防しよう」 (ICU)(3HCU)	基礎習得コース 「口から食べたいを叶える看護師の口腔ケア・摂食嚥下支援」 認知症・高齢者コース 「栄養面から考える看護ケア」	(110) (111) (112) (115) (119)	1.対象の口腔機能・嚥下機能をアセスメントし、その結果に基づいてケアの方法を選択し、指導できる 2.誤嚥をしない食事介助方法を習得し、指導できる	言語聴覚療法士 病棟看護師	①5月23日(木) 13:30~14:30 ②6月13日(木) 13:30~14:30 ①②同じ内容
スタッフ教育Ⅲ (NEW) 「初めてのファシリテーター入門」 (OP)(産科)	看護共育コース ALB2452 「これからのティーチング」 ALB2452 「これからのコーチング・ファシリテーション」 ALB2454 「こんなときどうする?『発達障害』にまつわる指導のヒント」	(154)(146) (147)(148) (149)	1.看護の現場におけるリフレクションについて理解する 2.3段階法で自己の大切にしたい看護に気づき、リフレクションができる	教育委員会/ 各部署教育委員	6月24日(月) 13:30~14:30
看護記録Ⅲ (NEW) (7HCU)(7B)			1.看護記録記載基準を基に記録ができる 2.病棟の看護記録に対し、確認・助言ができる	記録委員会	7月8日(月) 13:30~14:30
フィジカルアセスメントⅢ-B 「身体症状・兆候から急変時看護を展開しよう～リーダー編」 (ICU)(3HCU)	中堅コース AB2451 「チームで取り組む急変」	(110) (111) (112) (115) (119)	1.身体症状・兆候のOデータと患者のSデータを適切に収集し、患者に何が起きているのかを把握して、多角的なアセスメント、変化の予測ができる 2.アセスメントしたことを医療チームの一人として看護実践に反映し、評価・指導ができる 3.周囲の状況が変化する中で、リーダーに求められる役割は何かを理解し行動できる。	急性・重症患者看護専門看護師迅速対応チーム	7月10日(水) 13:30~14:30
看護倫理Ⅲ 「倫理的意思決定を支援する」 (5A)(5B)	倫理関連 CD2403a 「看護実践の場における倫理的問題」 CD2402bc 「事例検討法の実践」 CD2403c 「倫理的な看護実践」	(106)(114) (116)(117) (118)(141)	1.看護倫理の概要や考え方を理解し、今までの疑問や倫理的問題に気づき客観的に分析できる 2.分析モデルについて知る 3.分析モデルを活用し、カンファレンスの進め方や意思決定支援のプロセスを学ぶ 4.臨床の倫理問題を明確化し解決方法を見出すことができる	倫理委員会	8月29日(木) 17:15~18:45 (90分)
リーダーシップ (NEW) トップリーダー帯同研修 (救外)(4A)		(123)(124) (125)(126) (129)(131)	1.リーダーに求められる能力について理解できる 2.自部署の同僚に協力を求め実践することができる 3.OJTを通して自己のリーダーシップについて考え行動する事ができる	各部署レベルⅢ以上のスタッフ (教育委員に相談)	各部署で12月までに終了するよう計画実施 (アクションシートB提出)
業務改善発表会 (NEW)			キャリア開発リーダー:様式4に関わる研修	業務委員会	後日委員会より別途案内
グローバルヘルスⅢ 「地域特性を捉えた看護を実践しよう」 (7HCU)	看護のプロフェッショナルコース GT2453 「看護の対象はすべての人」 GT2451 「50年の看護経験から語られる看護のプロフェッショナルとは」 GT2454 「人を支え、地域を支える看護職に求められる力とは」	(154)(155) (156)(157)	1.グローバル化に伴う地域の健康問題が分かり、看護の課題を述べることができる 2.看護の対象を個人から集団に広げ、実践できる準備状況となる。	看護副部長	10月4日(金) 13:30~14:30

令和6年度(2024) レベル別教育プログラム 【全看護師対象】

研修名/受講要件	推奨するeラーニング	赤十字施設の看護師の看護実践能力の指標	研修受講後の到達目標	講師(担当部署)	日時
スキンテアの予防  (4A)(外来)			1.スキンテアについて理解を深め、褥瘡予防対策・スキンテア予防対策を実践できる 2.スキンテアの初動対応ができる	各部署:スキンケアナース/特定行為研修(創傷管理関連)修了者 オブザーバー:皮膚排泄ケア認定看護師:	5月23日(木) 17:15~18:15
静脈注射研修レベル3/ ①ラダーレベルⅠ取得済みのもので、自己の能力を超えると判断した場合、自ら助言を得ることができるもの ②今年度中にラダーレベルⅡの取得を目指しているもの ③JNAラダーレベルⅡ取得済みのもの ④過去に受けたが学び直しを希望するもの  (新生児)(5B)(6A)(7B)			静脈注射の基準に準ずる	教育委員 がん化学療法認定看護師	7月31日(水) 11月21日(木) いずれも内容同じ 9:00~16:00  いずれか1回に参加 1回20名程度
静脈注射レベル4/ ①ラダーレベルⅢ取得済みのもの ② JNAラダーレベルⅢ取得済みのもの ③過去に受けたが学び直しを希望するもの  (新生児)(5B)(6A)(7B)			静脈注射の基準に準ずる	教育委員 がん化学療法認定看護師 腫瘍内科医師/ 小児科医師	9月12日(木) 9:00~16:00
メンタルヘルスケア  (新生児)	看護共育コース ALA2454 「頑張っているあなたに知ってほしいセルフコンパッションのすすめ」	(79) (126)	検討中	看護副部長	9月25日(水) 13:30~14:30
医療安全				医療安全推進室	別途案内あり
看護を語る会 *各部署教育委員:ファシリテーター役を行い役割を学ぶ  *語り手:看護師経験15年以上(自薦・他薦可) A4用紙へまとめ、語る。			語り手: 1. 自己の看護の振り返りから、自己の看護観(大切にしている看護)を他者に語る事ができる  聞き手: 1. 他者の語りから様々な価値観・看護観を知る 2. 語りを聞き感じたことや考えたことを伝えることができる 3. 自己の看護実践の内省に役立ることができる	各部署 部署学習計画に入れて実施 1回30分 (発表10分程度)	各部署: 12月まで実施  実施後 聞き手:専用アクションシート提出 発表者:看護観提出 ファシリテーター:専用アクションシート提出
越境学習 ①レベルⅡ以上のもの *部署の目標管理面接時に師長に相談。自己の課題と目標をアクションシートに記入した上で訪問学習先を調整  *アクションシートは越境学習先の担当者、自部署師長から確認を受けてから、教育委員に提出			1. 部署目標達成のために自発的に課題に取り組むことができる 2. 越境学習後学びをリフレクションできる 3. 他部署での学びを自己の看護実践や業務改善に活かすことができる	該当部署の 看護師長・ 係長・教育委員 トップリーダー	越境学習先の 部署と自部署の 師長同士で 日時決定
「RRSトレーニング」			1. フィジカルアセスメント、急変時対応の実際が習得できる	迅速対応チーム インストラクター	別途案内
「BLS」			1. BLSの知識と技術を身につけることができる	BLS インストラクター	別途案内
看護研究オリエンテーション 研修 看護研究発表を予定している看護研究班あるいは個人	看護研究コース	(90)(91) (142)(143) (144)	1.看護研究の必要性を理解できる 2.看護計画書作成までの準備が理解できる 3.看護研究の進め方が理解できる 4.当院看護部の看護研究支援体制を理解し、支援を受けながら取り組むことができる 5.看護研究をまとめ、発表することができる	看護部看護研究倫理委員会	別途案内

看護研究発表会				12月予定
令和6年度発表部署:ICU・3HCU・産科・新生児・4A・5A・5B・6A・外来(他発表希望部署も可能)				
令和7年度発表部署予定:救急・OP・4B・6B・7HCU・7B				
・学会発表予定の研究に取り組んでいる方,または部署				
・今年度より、研究は各部署1年おきの発表へ変更。ラダー申請に必要な場合は、レベルⅢ業務改善発表会で発表を行う				

院内認定コース					
研修名/受講要件	推奨するeラーニング	赤十字師越の看護師の看護実践能力の指標	研修受講後の到達目標	講師(担当部署)	日時(講義開催日)
スキンケアナース *研修要綱別途案内			1.褥瘡に関連した(医療関連機器圧迫創傷・スキンケア・失禁関連皮膚障害を含む)予防的ケアと治療的ケアの知識と技術を習得できる 2.部署内において、主体的にケアの実践・指導ができる	講師:看護師 特定行為研修(創傷管理関連) 修了者 皮膚排泄ケア 認定看護師	①6月3日(月) 13:30~16:00 ②7月9日(火) 13:30~17:00 ③8月5日(月) 13:00~16:00 ④8月28日(水) 16:00~17:00 8月23日のみ福利厚生棟 ※①~④すべてに参加

# 2024(令和6)年度レベル別教育プログラム

## 【対象別:看護助手】

※看護チームの一員として、看護助手が安全に業務を遂行するためには、看護助手が働く環境やチームの一員としての看護助手の役割や業務、責任に加え、看護補助業務を行う上で必要となる知識・技術を習得するための教育・研修を行うことが必要です。

また、診療報酬の看護助手の配置に関する施設基準では、看護助手は以下の基礎知識を習得できる内容を含む院内研修を年1回受講した者であることを求めています。

(日本看護協会「看護チームにおける看護師・准看護師および看護補助者の業務のあり方に関するガイドラインおよび活用ガイド」2021年度改訂版より)

### 【研修内容】

1. 医療制度の概要と当院の組織体制と機能
2. 医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助業務の理解
3. 守秘義務・個人情報の保護
4. 看護補助業務を遂行するための基本的な知識・技術
5. 日常生活に関わる看護補助技術の知識・技術を習得する
6. 看護補助業務における医療安全と感染防止に関する知識、技術

### 【研修方法】

1. 1～8-1)は学研 e-ラーニングを各自で勤務時間内に視聴し、確認テストを行う
2. 視聴・テスト後は指定の用紙に終了日を各自記載する
3. 9-1) 2)は研修終了後、指定の用紙に終了日を各自記載する。
4. 用紙を部署の看護師長が確認する
5. 全員終了後に、部署の看護師長は書類を看護部)業務担当副部長へ提出する

	研 修 名	研 修 内 容	研修日時・担当者
1	BAA2401(16分) 医療制度の概要および病院の機能と組織の理解	・日本の医療の現状・医療機関の機能と役割 ・日本の医療制度と今後の課題 ・医療機関の特徴	6/30まで
2	BAA2402(19分) チームの一員としての看護補助者業務の理解～業務範囲と役割、夜勤業務、ほう・れん・そう～	・医療チームの機能と役割 ・看護補助者の業務について ・夜勤業務について ・報告・連絡・相談(ほう・れん・そう)	7/31まで
3	BAA2403(17分) 守秘義務、個人情報保護の基礎知識	・守秘義務について ・個人情報の保護について(個人情報とは何か、個人情報の漏洩について、個人情報の取り扱いについて)	8/31まで
4	BAA2404(11分) 労働安全衛生の基礎知識	・安全衛生とは ・業務のなかで起こりうる事故や疾病 ・事故や疾病の具体例と予防策 ・健康管理	8/31まで
5	BAA2405(17分) 接遇・マナーの基本～患者・家族へのかかわり方～	・接遇・マナーとは ・身だしなみの基本 ・医療現場での接遇・マナーの実際	9/30まで
6	BAA2406(18分) 倫理の基本～医療機関において求められる倫理的な行動～	・倫理とは ・医療機関で求められる倫理的な視点 ・援助者として望ましくないケア	10/31まで
7	BAA2416 医療安全～患者誤認による重大事故対応を中心に～ a 医療安全の基礎知識(10分) b 患者誤認を防止するための基本(10分) c 事故発生時の対応(10分)	・医療安全の基礎知識～患者誤認による重大事故はなぜ起きるのか～ ・患者誤認を防止するための基本 ・事故発生時の対応	11/30まで
8-1)	BAA2417(17分) 感染予防～手指衛生、標準予防策など～	・感染とは ・標準予防策とは ・感染経路別予防策とは ・職業感染対策とは	5/31まで
8-2)	OJT 感染予防対策の実際 *詳細は感染委員会のBSCを参照	・感染対策に必要な知識がわかる ・感染対策に必要な技術を習得し、実践する	BAA2417 視聴後 随時 (担当) 感染管理認定看護師: 感染委員会
9-1)	車椅子の搬送(カチャット君を装着して) 事前課題:BAA2414 移動のお世話(12分) *詳細は基準委員会BSCを参照	・車いす搬送の対象者を理解する ・車いすとそれに付属する器具の正しい使用方法がわかる ・安全・安心・安楽な移送方法を習得し、実践する	各部署で実施 12月までに数回開催 (担当)基準委員会
9-2)	食事に関する介助(準備から片づけまで) 事前課題:BAA2411- a.b.c 食事のお世話(15分×3) *詳細は業務委員会BSCを参照	・食事介助の対象者を理解する ・食事に関する準備から後片付けの注意点を理解する ・患者誤認、事故発生時の対応を理解する	各部署で実施 12月までに数回開催 (担当)業務委員会